

深川市新庁舎建設基本設計書 [概要版] (案)

令和2年10月

市では、新庁舎建設の基礎となる新庁舎建設基本設計書[概要版] (案) を作成しました。今後、この案を基に市民説明会やパブリックコメントを行い、市民の皆さんからご意見をいただき基本設計を決定します。



鳥瞰イメージ

01 基本方針 (案 P1)

基本方針に基づき、市民の安心・安全な暮らしを守り、市民に親しまれ利用しやすい庁舎の実現を目指します。

基本方針 1 市民に親しまれ利用しやすい庁舎

- ・ 窓口機能を低層階に集約配置します。
- ・ 窓口の対面配置やワンフロア化により、来庁者の利便性に配慮した窓口配置とします。
- ・ 来庁者が安心して相談や手続きが行える窓口や相談室等を設けます。
- ・ 気軽に訪れ親しみやすい庁舎となるよう、情報発信や多目的スペース等を設置します。

基本方針 2 市民の安心安全を守る災害に強い庁舎

- ・ 防災拠点としての機能が十分に発揮できる高い耐震性を有する構造とし、災害対策室など必要な機能を整備します。
- ・ 防災拠点としての活動に必要な電力や給水などの設備のバックアップを行います。
- ・ 浸水程度に応じた対策で被害の軽減を図り、電気室や機械室などは上層階に配置します。

基本方針 3 人と環境に優しい庁舎

- ・ 誰もが使いやすい庁舎となるよう、ユニバーサルデザインの考えに基づき整備します。
- ・ 自然エネルギーの利用や省エネルギー化を図り、環境負荷と維持管理コストを抑えた庁舎とします。

基本方針 4 効率的で安全な庁舎

- ・ 将来の組織変更にも柔軟に対応できる効率的なレイアウトとします。
- ・ 様々な行政需要と高度情報化に対応できるよう、情報ネットワークを整備します。
- ・ 重要度に応じたセキュリティ区画の設定や防犯対策等を実施します。

建物概要

建設位置 深川市2条17番 (現庁舎敷地内)
建築面積 1,733㎡ / 延床面積 6,421㎡
階数 地上4階

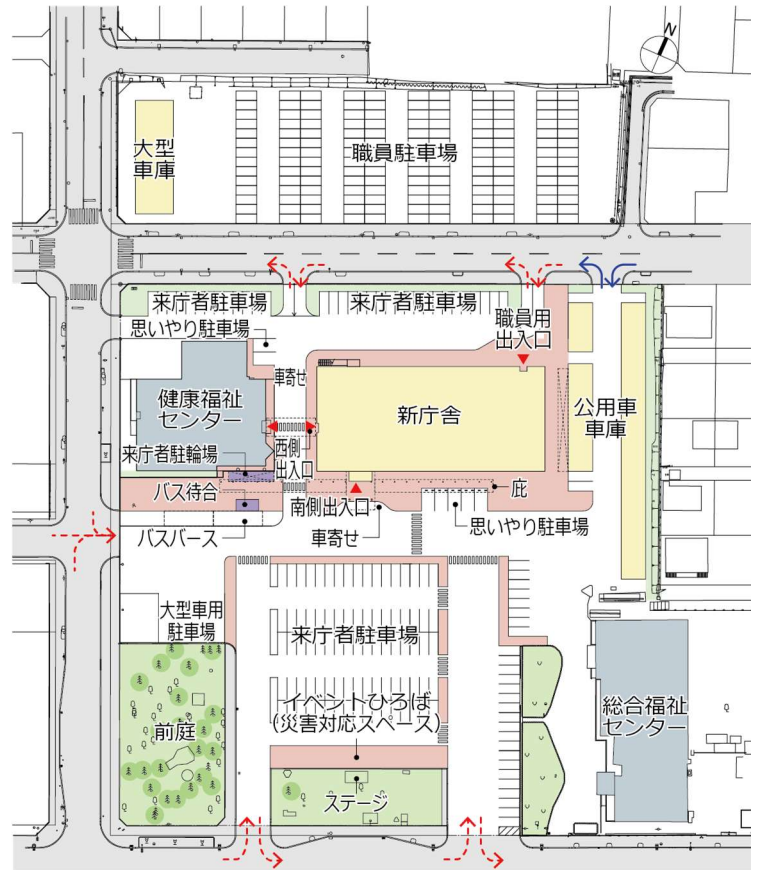
建物高さ 20.3m
構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
(プレストレストコンクリート造)

配置計画（案 P3）

- ・健康福祉センターデ・アイとの一体的な活用や、敷地南側の有効活用等が図れるため、新庁舎は現庁舎の「北側」に配置します。
- ・新庁舎の南側には、まとまった来庁者駐車場を確保するほか、イベントや災害対応などに活用できるスペースを設けます。
- ・新庁舎東側には公用車車庫を配置し、北側の敷地には大型車庫と職員駐車場を設けます。
- ・克雪車両センターは敷地外に整備します。

動線計画（案 P3）

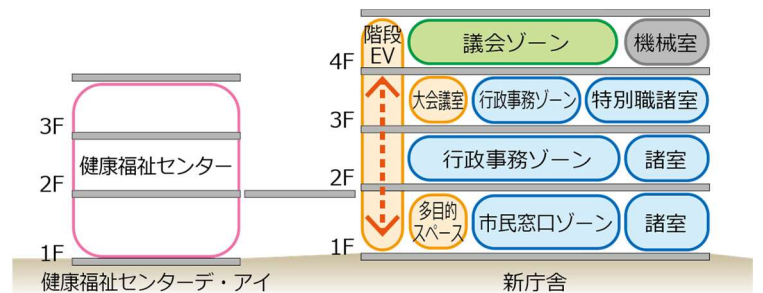
- ・来庁者出入口を南側と西側に設け、西側出入口は休日・夜間窓口とします。
- ・建物正面に車寄せと庇を設け、正面玄関に近接して思いやり駐車場を配置します。
- ・新庁舎と健康福祉センターデ・アイとの間に車路を設け、敷地南北の動線を確保します。
- ・敷地内への路線バスの乗入れを計画します。
- ・敷地西側の出入口は、市道仲町通線から直進で出入りできるように計画します。



配置図

階構成計画（案 P3）

- ・現庁舎等を使用しながらの建設となり、限られた敷地の有効活用を図るため、建築面積を抑えた「4階建て」とします。
- ・市民窓口・行政事務・議会機能をフロア毎に配置し、利便性の高い機能的な階構成とします。
- ・円滑な移動のためエレベーターを設置します。



階構成イメージ

構造計画（案 P12）

- ・官庁施設の総合耐震計画基準で最も高い「耐震安全性分類Ⅰ類」（重要度係数 I=1.5）相当とし、高い耐震性を有する構造とします。
- ・基礎形式：直接基礎（地盤改良）
- ・構造形式：耐震構造
- ・架構計画：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（プレストレストコンクリート造）



議場イメージ

防災計画（案 P11）

- ・防災拠点として、救援活動や災害復旧活動が十分に行えるよう、想定されるリスクに対応した性能、設備を確保します。
- ・災害に備えて非常用発電機の設置や複数の通信手段の確保等を行うほか、飲用水や雑用水等（各3日分）を備蓄します。
- ・防潮板の活用や機械室等の上層階への設置など、浸水程度に応じた段階的な対策を講じ、浸水被害の軽減を図ります。
- ・災害発生時に来庁者が帰宅困難となった場合に、一時的に滞在できる機能を整えます。

平面計画 (案 P4~P5)

- ・来庁者の移動を短くし利便性を高めるため、窓口カウンターは「対面配置型」とします。
- ・段差のない出入口やゆとりある通路など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインで整備します。
- ・プライバシーに配慮した窓口や相談室を設置します。
- ・市民利用のエリアには、公衆無線LANを整備します。

1階

- ・利用頻度の高い窓口（市民福祉部、税務課等）を配置します。
- ・正面玄関付近に多目的スペース等を設け、市民が自由に休憩等ができるスペースとするほか、臨時事務や展示など多目的に活用します。
- ・子育て世代に配慮して授乳室やキッズスペースを設けます。

2階

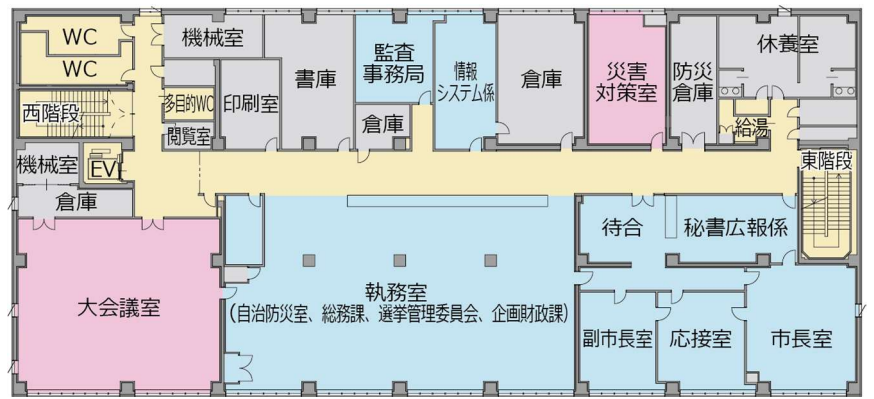
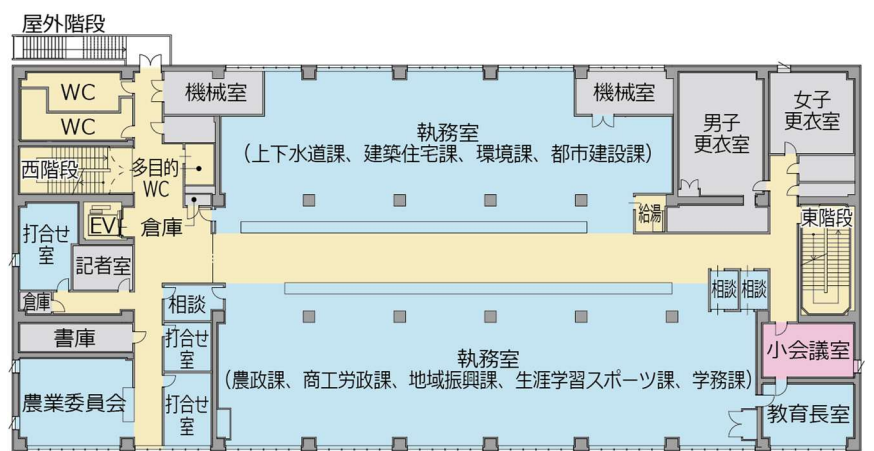
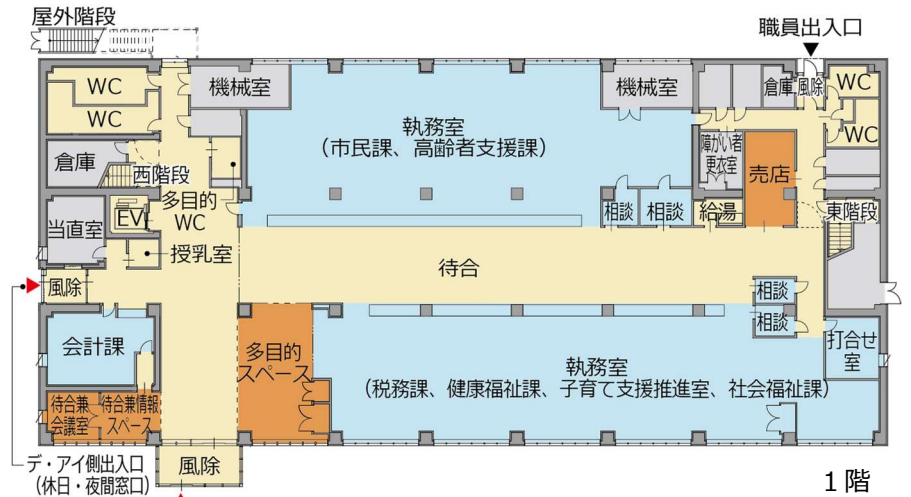
- ・1階に次いで来庁者が多い窓口や部署(建設水道部、経済・地域振興部、教育委員会等)を配置します。
- ・水害時の出入口として、2階に屋外階段を設置します。

3階

- ・市長室等の特別職諸室や企画総務部等を配置します。
- ・特別職諸室に近接して災害対策室等を設置し、災害発生時に迅速に対応できる庁舎とします。
- ・大会議室は来庁者の利用を考慮しエレベーター近くに配置します。

4階

- ・議会施設を集約配置します。
- ・議場は対面配置型とします。
- ・議場と委員会室は、議会以外の用途での使用を可能とします。
- ・傍聴席は、ロビーから続く床面をフラットとし、車いすスペースや親子室を設けます。
- ・議会ロビーを南面に配置します。



03 各部計画



外観イメージ

立面計画（案 P6）

- ・高さを感じさせない水平ラインを強調したデザインとします。
- ・凹凸のないシンプルな形状とし、外装材は金属板とします。
- ・外断熱工法や複層ガラスを用いた窓により、省エネルギー化と快適性の向上を図ります。

断面計画（案 P7）

- ・市民の利用が多い1階天井高を高くし、2～4階は必要最低限の階高に留め、建物全体の高さを抑えてコスト削減を図ります。

内装計画（案 P8）

- ・機能的でシンプルなデザインを基本とします。
- ・耐久性やメンテナンス性に配慮するとともに、安心安全な材料を選定します。
- ・地場産材を活用した木質系の材料を部分的に使用します。

ユニバーサルデザイン計画（案 P9）

- ・バリアフリー新法などの整備基準に基づき、誰にでも「わかりやすい」「利用しやすい」「使いやすい」庁舎を目指します。

環境配慮計画（案 P10）

- ・断熱性能の向上や自然エネルギーの利用等で環境負荷と維持管理コストを抑えた庁舎とします。
- ・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の実現を検討します。
- ・全館 LED 照明の採用などで、照明エネルギーを削減します。
- ・井戸水や地中熱などを利用した熱源設備の導入を検討します。
- ・床面からの冷暖房（床輻射冷暖房）などを採用し、消費エネルギーの削減等を図ります。

04 整備スケジュール・概算事業費（案 P14）

整備スケジュール

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本・実施設計	建設工事			外構・解体等	

概算事業費

項目	概算工事費	備考
建設工事費	37億0,000万円	建築・電気設備・機械設備
解体工事費	2億7,800万円	旧庁舎の解体
外構工事費	2億3,000万円	駐車場等の外構
その他費用	7億2,200万円	設計・備品購入・移転費等
合計	49億3,000万円	※消費税を含む



1階窓口イメージ

北海道 深川市
 企画総務部 総務課 庁舎建設推進室
 TEL 26-2226
 FAX 22-8134
 Eメール
 chousha_se@city.fukagawa.lg.jp